

普及活動情勢報告（平成30年4月分）

安芸農業振興センター

芸西の花は世界レベルぜよ!! ～芸西小学校出前授業～



この花を知っていますか？

3月19日、芸西小学校が同小学校6年生40人を対象に、芸西村の花についての学習会と卒業式用のコサージュ作りを開催し、農業改良普及課の普及指導員が学習会の講師として出前授業しました。

農業改良普及課は、芸西村で栽培されている花の種類や生産面積、世界的な品評会での最優秀賞の受賞や芸西村の花を海外に輸出していることについてクイズを交えながら説明しました。

さすが花の大産地である芸西村の小学校なだけあって、児童らは花の種類にくわしく、よく勉強していることがわかりました。

農業改良普及課は、今後も出前授業などを通じて花育の推進に取り組みます。

環境測定データを活用しよう ～穴内支部園芸部園芸研究会ナス部会～



うちんくの温度管理とどう違うかね

3月22日、穴内支部園芸部園芸研究会ナス部会が炭酸ガス導入ほ場3ヶ所で現地検討会を、穴内集出荷場で勉強会を開催し、17人が出席しました。

農業改良普及課は、環境測定データを活用したハウス内管理や炭酸ガス施用下での早期摘葉による省力化試験の内容について説明しました。

生産者の中には「早朝加温によってハウス内の相対湿度を下げ、気孔を開かせて日の出からスムーズに光合成をさせんといかんね」といった意欲的な意見が出ました。

農業改良普及課は、今後も炭酸ガス施用以外の観点からも環境制御による増収技術の普及に取り組みます。

中土佐町のシャクヤクを見に行こう!! ～花卉部中山支部視察研修～



中山とは栽培の仕方が違っておもしろいの～

農業改良普及課は、花卉部中山支部から視察研修を実施したいという意向を受けて、3月23日、シャクヤク生産者7人で中土佐町上ノ加江地区のシャクヤク栽培への視察研修を企画・実施しました。

視察先では、JA土佐くろしおの営農指導員や上ノ加江のシャクヤク生産者から、栽培について説明がありました。

生産者からは、「追肥の量と使っている肥料はどんなもんですか?」、「病害虫の防除はどうしてますか?」など、上ノ加江地区の生産者を質問攻めにし、「今日はホンマに栽培の勉強になった!!」と満足げでした。

農業改良普及課は、今後もJAと連携してシャクヤクの栽培推進による中山間地域の振興に取り組みます。

奈半利町の不耕作地の解消に向けて！ ～なはりの郷がイチジクを定植～



美味しいイチジクが
できるとえいね～

奈半利町の中山間農業複合経営拠点である一般社団法人なはりの郷（以下、「なはりの郷」という）は、地域の農業を「支える」取り組みとして、町内の不耕作地解消に向けた農産物生産に取り組んでいます。その一環として町の特産品であるイチジク栽培に新たに取り組むこととし、3月28日、平松地区の10aに定植しました。

農業改良普及課は、イチジクの定植方法や定植後の管理について指導しました。

収穫した果実は町内加工施設である『奈半利のおかって』の加工品づくりに活用される予定です。

農業改良普及課は、今後も奈半利町内の農業を支え農業で稼ぐ仕組みづくりに向けて、なはりの郷の各種事業の実施を支援します。

今年はずこぶる順調ぜよ!! ～花卉部中山支部シャクヤク現地検討会～



今年の出来はなかなかえいね

4月3日、花卉部中山支部が安田町中山地区のシャクヤクほ場で現地検討会を開催し、10人が参加しました。

現地ほ場では、各品種の蕾の肥大具合を確認して出荷時期を検討しました。農業改良普及課は、灰色かび病などの病害防除と収穫後の追肥について指導しました。

生産者からは、「今使っている農薬は灰色かび病に効くろうか?」、「この前の中土佐町で視察した内容も踏まえながら追肥もしてみよう」といった声が聞かれ、今後の栽培管理への意識を高めることができました。

農業改良普及課は、今後もJAと連携してシャクヤクの栽培推進による中山間地域の振興に取り組めます。

湿度制御で病害を抑えませんか？ ～JA 土佐あき北支所管内巡回指導～



湿度制御に
取り組みませんか？

4月9、10日、農業改良普及課はJA土佐あき北支所、営農指導課と連携して、安芸市高台寺・一ノ宮地区のナス農家11人を対象に個別巡回しました。

安芸地区のナス栽培では、IPM技術の普及で害虫による被害は軽減しましたが、病害については黒枯病やすすかび病などが多発したハウスが散見されていることから、湿度制御による病害防除技術を指導しました。

巡回先の生産者の中には、「暖房機の設定温度をあげて加温している」、「朝に一度天窓を少し開けている」など湿度低減を意識して工夫している人もいました。

農業改良普及課は、今後も湿度制御を実施している農家の協力を得て、湿度コントロールによる病害防除技術の普及に取り組めます。

今年度も頑張ろう!! ～奈半利町百石ファーム総会開催～



人員は少ないけど、
きっちり栽培しよう!!

4月16日、奈半利町百石ファームが同ファーム組合長の作業場で総会を開催し、生産者4人が出席しました。

農業改良普及課は、総会を開催するにあたり、平成29年の事業実績書のとりまとめや収支決算書作成等総会資料づくり、総会運営について支援しました。

平成30年度の事業計画として、水稻とジャガイモ栽培に取り組むことや経営ソフトで経費を管理することが承認されました。また、水稻の後作品目としてブロッコリーやサトイモ等の栽培を検討することになりました。

農業改良普及課は、引き続き、栽培品目の管理や会計管理について支援します。

今日は「よいナス」の日（4月17日）です ～安芸集出荷場営農相談日～



今日は「よいナス」の日です。
水不足や高温に
注意してください

農業改良普及課とJA土佐あき営農指導課は、国産なす消費拡大の日である毎月17日前後に集出荷場で営農相談をしています。安芸集出荷場では営農相談日を始めて今年で11年目を迎えました。出荷に訪れたナス生産者に対して、「よいナス」生産のための栽培管理の注意事項やお知らせなどを呼びかけています。

「なすび記念日」の4月17日、安芸集出荷場ではナス生産者82人に対して、今後の栽培管理について周知しました。生産者からは、ボケ果とかん水管理、湿度制御による病害対策、チャノキイロアザミマ対策、炭酸ガスの濃度設定等の相談があり、個々に対応しました。

農業改良普及課は、今後も営農相談も活用しながら、ナスの収量・品質の向上を目指します。

GAPの活用で「栽培の自己点検」を! ～芸東集出荷場営農相談日～



現状をチェックして、
ほ場の改善に
活かしてくださいね!

4月17日（よいナスの日）、農業改良普及課とJA土佐あき営農指導課は、芸東集出荷場でナス生産者を対象に営農相談日を開催しました。

出荷に来た生産者40人に、これからの管理のポイントと国のガイドラインに準拠したGAP（以下「準拠GAP」）の取り組みについて指導しました。先月の準拠GAPチェックシートが未記入だった生産者のうち7人に対して、疑問点に答えながら記入方法を指導しました。生産者からは「少し面倒やけど、地域の生産者全員で取り組んでいかないかんね」との声もあり、準拠GAPについての理解を深めることができました。

農業改良普及課は、今後もJAや部会と連携しながら、準拠GAPの取り組みを推進します。